

令和4年度 高梁市在宅医療・介護連携推進事業計画（案）

全体目標	住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療と介護の関係者が協力して、在宅医療と介護の連携強化を図る
重点目標	・医療と介護の関係者が協働・連携を図り、在宅医療と介護を一体的に提供できる。
	・ICTの利活用によって、業務の効率化や多職種間の連携を図ることができる。
	・人生の最終段階における望む場所での看取りを行えるように、医療・介護関係者が、対象者本人と人生の最終段階における意思を共有し、それを実現できるように支援できる。

昨年度の 評価	<p>岡山県栄養士会高梁支部の取組みや摂食・嚥下の基本等をテーマとして、多職種連携研修会を開催したことで栄養士に対する職の理解が深まった。栄養士目線の新たな視点を知る機会となり、患者や利用者に対するアセスメント力の向上や多職種との連携がよりスムーズに図られることが期待される。</p> <p>また、介護医療連携課に「在宅医療・介護連携相談窓口」を設置していることについて、市ホームページや研修会の案内等に掲載する等し周知を図った。</p>
	<p>会議や研修会等の開催方法を主にハイブリットでの開催とし、参加者の感染防止や移動時間削減等を図ることができた。</p> <p>多職種情報連携ツール「ケアキャビネット（やまぼうし）」システムの利用料が、令和3年度から有料化したことに伴い、市内の加入事業所数・ID取得者数は大幅に減少したが、WEB会議システムを利用した担当者会議、在宅看取り時等における情報共有ツールとして活用されている。</p> <p>引き続きシステムの活用について支援するとともに、利用者を増やすため、ケアキャビネットの同意書の取り方について検討が必要。</p>
	<p>元気な高齢者を対象として、人生会議（ACP）の話し合いガイドと記入シートを作成した。出前講座（3回）では、人生会議についての講話と参加者に記入シートへ実際に記入して頂く取り組みを行い、人生会議の取り組みに対する理解を深めることができた。</p> <p>次年度からは、このツールを市内医療・介護施設に配布や、50歳の節目検診案内送付時に同封する等して人生会議の取り組みについて普及・啓発を図ると共に、専門職に対する研修会を開催する等し、支援方法等のスキルアップを図る。</p>
今年度の 主な事業	1. 令和4年度高梁市医療・介護市民公開講座 第一部 在宅医療・介護連携の普及・啓発 第二部 市内の医療機関・介護事業所の紹介
	2. 人生会議（ACP）の普及・啓発
	3. 出前講座（我が家で療養応援講座）
	4. 広報紙 「広報たかはし」への記事掲載
	5. ICTを活用した医療・介護連携システムの在り方検討
	6. 実務者部会実施事業 ・多職種連携研修会 ・ACPの実施に向けての検討
	7. 高梁かごねっと（高梁医師会）委託事業 ・専門職のスキルアップと人材育成

会議 (予定)	第1回	令和4年7月22日（金） ・在宅医療・介護連携推進協議会の事業計画等について
	第2回	令和5年2月頃 ・今年度の事業取り組みについて ・次年度に向けての課題と方向性について